



実践真宗学の最前線

長岡阿衣璃さん&長尾菜摘さん 院生

「チャプレンは不完全な伴走者」

「人に寄り添うには自分に寄り添うのが大事」

「傾聴とは、苦しむ人々から零れ落ちた心の声を拾い、
その悲しみを受け止め、
ともに生を育ませていただく」

2024年7月2日 真宗学概論A1

第12回 受講生コメント

龍谷大学文学部教授 鍋島 直樹

長岡阿衣璃さんの発表資料

chaplain

写真左のブレイン比嘉先生は浄土真宗のチャプレンは「不完全な伴走者」と教えてくださりました。つまり、ケアの姿勢とは、自ら苦しみ続ける不完全な私を知り、伴走者としてケアを求める者と共に歩み心を寄り添わさせていただくことだと学びました。そして、人に寄り添うには自分に寄り添うことが大切であり、阿弥陀さまが私たち一人ひとりに伴走してくださっているところに安心があるのだとお話ししてくださいました。



長岡阿衣璃さんの発表資料

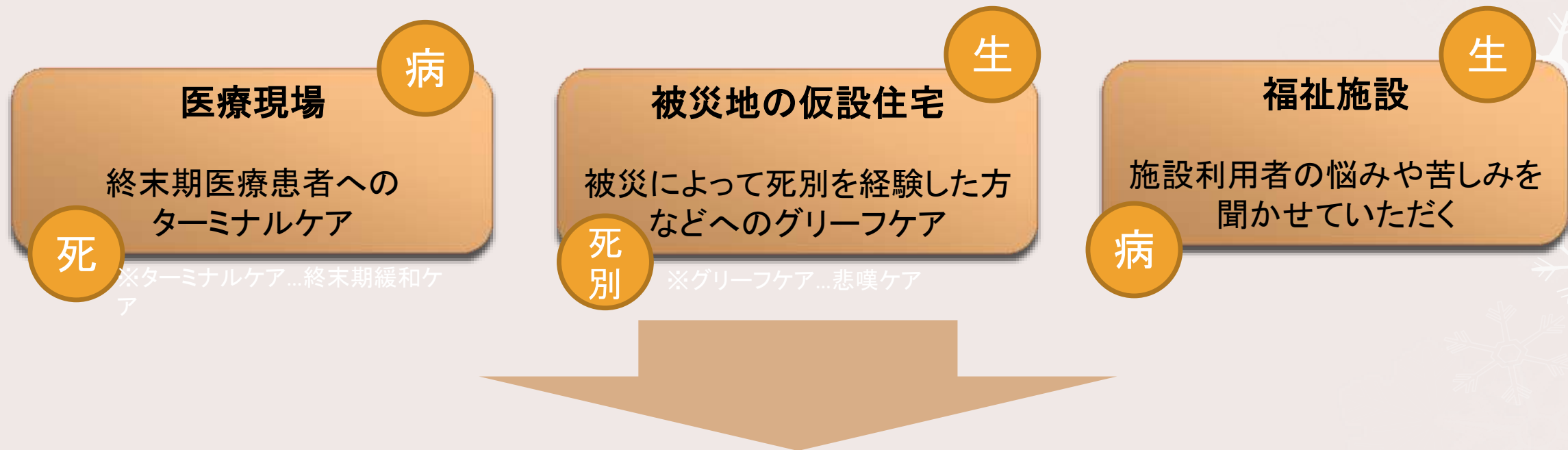
polis chaplain

写真の中央に写っているのが曾我大円先生、ポリスチャプレンです。訪問したワイパフ本願寺には数人のポリスもいらっしゃり、気さくに話す姿も見られました。業務をする時には警察官と同じ制服を身につけ、事件や事故の現場に呼ばれることもあるそうです。被害者の方の話をただひたすら聴かせてもらう時もあれば、安否の確認や情報整理など臨機応変に対応が求められる時もあるそうです。



臨床宗教師とは？ 長尾菜摘さん発表資料

→苦悩を抱える人々に寄り添い、傾聴する宗教者



苦しむ人々から零れ落ちた心の声を拾い、
その悲しみを受け止め、ともに生を育ませていただく

「患者さんの心の負担を軽減させる」ことを目的とし、負担となり得る問題を解決し、時に人生に楽しみを提案し、与えることも役割の一つ。

例)・元気な時間に将棋をしたり

・大好きなコーヒーを淹れてあげたり

・旅行好きな患者さんと遠出をしたり

・バイク好きな人と原チャリで病院敷地内を走ったり など



傾聴をする中で「あなた」だからこそ言うことができた趣味やしたい事を聞かせて頂くことができる。

患者さんが病院で過ごす中で「生きる意味・生きている意味」を見つけてくれた時が、臨床宗教師としての喜びとなる。



浄土真宗本願寺派 真金山真覚寺

雨の日は
雨音きいて
ただきいて
ひとりぼっちの
優しいひとよ
み仏はいつも
あなたを見守っている
少し休んで前に進もう



広げよう弥陀の心
繫げよう同朋の和



悲しみを希望に
かえるものは何
生かされている
ご縁の力



鍋島先生、本日は貴重な縁をいただき、誠にありが
とうございました。改めて僧侶として、宗教者として、ヒトリの人として
阿弥陀さまに抱かれながら何が実践できるか考える機会に
なりました！ハーバートの写真スピーチ、本当に感銘を頂きました。
鍋島先生、今年も発表の場を設けて頂き、ありがとうございます
でございます！和自身、今はLGBTQ+を中心に活動中ですが、
（以下省略）



臨床宗教研究科がどのようなことをしているのか
は少し分かってはいたのですが、似となく知ることは
できなかったです。年齢が若い人が多く活動している
ことに驚きました。

臨床宗教師を今回の授業を通して
初めて知りました。被災地などに出向いたり
公共空間で、心のケアをすると言っていて
とても興味深いと思いました。

「臨床宗教師」という言葉を鍋島先生の講義で初めて知った。
院生の方の発表で「臨床宗教師」の意義について教わることが
できた。これまでの講義の中で、阿弥陀仏の救いについて
教わってきたが、その本質を具体化させた活動が「臨床宗教師」
であると気づく。いつの時代も救いを求める声は絶えず存在すること
（以下省略）

お二人、私にとって興味深いテーマでした。ハツの真実寺院
では、東西どちらも御縁があり、ゴッパで遠征はなさっているが、
又、御縁のつくところへを引っ越して頂きたい。
臨床宗教師についての今後、この先抱くべき
活動の期待ができるようにしたい。

最初の講義で「相手の人間性を見」ことで、己の人間性
が見えてくる、というのが「実用でしななく」ということであり
私、もつてその中にあり、というのには驚かされました。
不完全な存在者として、脆弱な姿勢を大切にして
これから励んでいきたいと思ひます。

今日の発表を聞いて、海外の関教や、
ヒールケア院ではどのような生活をしているのか
やどのような人がいるのかなどがわかり、こんな
研究をしている実践真宗科はおもしろそう
だなと感じた。

117号の学習室の11のセアまで行っていることを聞いて
国籍関係なく必要とされているのだなと感じ、
とても印象に残りました。

このセアには様々な実践者
があると感じました。

今日の講義を聞いて、発表者の
方2人が「いっしょにやろうって、けんこうしな
いこと」がわかりました。その努力を今回の発表で
いっしょにやろうって感じがすると思いました。

「実践真宗学の最前線」と題して117号での浄土真宗や臨床真宗
教師の具体的な内容に関して知ることができて良かったです。
特に117号の浄土真宗では「門徒」ではなく「member」と呼ばれている
ということが印象に残りました。門徒よりもmemberと呼ぶことで同じ
浄土真宗の教えをいながら仲間意識が高まるので、
門徒をmemberと呼ぶことは良いことだと思いました。

2人の説明を聞いて実際の生活と
密着したこの研究を聞いて、とても
興味がわきました。

長岡さんの発表の中に出てきた「ポリスチレン」というの
を初めて知り、臨床真宗教師の活動の場の可能性について興味
が湧いたので、もっと調べてみようと思いました。

長尾さんの発表では「あなただから」話せたという、1人の人
として相手の方と出会うことの大切さを改めて実感させられ
素敵な講演ありがとうございました！！

今日は117号の実践例、臨床真宗教師の例と通じて学ばせていただ
きました。現在、理論方法としてそういった活動をしているお母が
実際の活動、実践がどのように展開されているかは知りませ
んでした。今後、自分自身の進み道と学びたいことが
本当に良かったです。ありがとうございました。

臨床宗教師のことは前から興味があり、
今日たくさんのお話を聞けてよかったです。
思いました。

皆さんの貴重なお話を聞いて良かった。
臨床宗教師に聞いてはじめてこんなに興味か
あった。今日のお話を聞いてとても参考になった。

人の話を聞くこと、傾聴の重要性、実践
さを知った。このことは、人と関わることにあつた。
常に一番にやるべきことだなと考えた。

臨床宗教師という言葉を聞いた。どうも仕事
全然想像がつかない。病院のやけに宗教に親近感
患者のやけにやせやせと病室のい仕事だと思ふ。

考えてもらう内容や興味深い話が多くありました。
一番心に残ったのは「人の話を聞けること」ということでした。
人の話を聞くという事は簡単にできるより見えてきた
難しいことなのだと改めて思いました。

今回の講義は、真宗について詳しく研究
している先輩の話を聞くことができて大変
ためになった。特に傾聴についての話は
考えさせられるものがあった。

苦悩を抱える人々に寄り添う
として臨床宗教師として傾聴すること
があることを初めて知り、とても素晴らしいことだ
と思った。これは、お二人のプレゼンが本当に上手
で、心に沁み込んで入りました。

講師 2人と自分の考えを共有するテーマに
対して思ふことが多かった。その中で
「聞くこと」の大切さについて改めて
分かった。

聞くことの本质について考えさせられた。
自分の興味が甘いものに関して、おぼろをつ
くらしいで話半分になってしまっている事を反省した。

傾聴のお話は去年の前期も聞いた
よけな気がしました。もう一度素晴らしい
話が聞けてよかったです。

傾聴聴取のこの大いには、東京だけでなく、人として重
要なことに感じて、しっかりと自分の気持ちに
とらわれ、守るべきは、この人は話を聞いてくれない、信頼感
人ではなからと思うので、この人はもう一人の話を聞く
というところから、しようと思ふ。

海外における東京の伝道者についてはほとんど
知らなかった。勉強になりました。臨床宗教師のことも
含めて、東京のみ教を他の人と関わる上でどのように伝
えていくか、考える機会をいただきました。

臨床宗教師の仕事について、江戸がないという面
でもまた文壇に読者は、患者さんの心に寄り添
うという意味を感じておられた。何より、やりがいは
他の仕事とは呼べること、かつ未知の世界を感じました。

傾聴を通じて、患者さんの心の中を聞き、日常的な関わりの中で心の負担
を軽減する活動が印象的でした。また、病院出身のことで目に見
えない病状があること、多くの人の希望を感じる。また、患者さん一人一人に寄り添
うという姿勢が感じられ、始めのころは、意味のある仕事だと思った。

本日 実践臨床宗教研究科の各々の話を聞いて
一番に感じたことは、現在起きている様々な
問題に、東京は取り組んでおり、東京の教員、
全ての学生を救うという言葉を体現している活動ということ
です。

実際に、実践天文学を学んでいる方々の声を
生で聞くことはなかったもので、
とても良い機会になりました。

臨床宗教師は、悉く心に受けて事と目的としている事を
今日特別講演と聞き、初めて学んだ事である。

長尾さんの臨床宗教師としての興味を持ちました。
福地先生に出会った後のケアをするという布教や伝道と
目的の違いは、ケアの方が理解が通むと思えました。

臨床宗教師は大変そうだなと思った。
他宗教の書籍は確かに大切だと思った。
僧侶として、門徒の声を、阿彌陀仏の嘆息の声を
しっかりと聞いてきたなと思った。

ビハーラという単語を失敬してしま
したが、至り角身していると思いはずんでいた
だけで、活動力の講義内容を聞く大変
貴重な機会でした。ありがとうございました。

長尾さんの研究されて~~いた~~
いる「仏前結婚の同性結婚」
について私のテーマとは異なりますが、すごく気になるテーマでした。
^{研究}加納さん
2人の話をきいて院に興味が湧きました。ありがとうございました。

実践真宗学研究所の方たちのお話をきいて、
臨床宗教師について印象に残った。
宗派を超えて若しお力添えすることは、社会の中で
傾聴とお話を通じて支援に大切な意義を感じた。

ビハーラ活動を通じて、仏教の優しさと
寄り添う力を実感しました。
ありがとうございます。

ビハーラやチベットなどの区別や福祉の現場
でのケアの重要性を実感しました。
仏教教育の支援のあり方は人々にとっても大切な支え
になると思えました。

臨床宗教師という職がすごく変な物に思えた。
同時に、大変やり甲斐のある仕事のように思いました。
人の心という見えないものに精いっぱい寄り添う
臨床宗教師の方々に尊敬の念を抱きました。

あえかびーラ病棟での実習のお話
など素晴らしいお話を聞けて良かったです。

ビバーラに興味があり、杉本先生にもお話を聞いていたのび
今日の特別講義はとても面白く聞くことが出来ました。
ビバーラの様子が知れてとても学びになりました。

なびおさんがおっしゃる様に、
他人の話を聞くとは難しい。オーストラリアに行き時、
日本人は他人の話を聞くのが下手だと思ふことが
ある。
船なりにチャット、ボールで投げたりとかがいいのだ。

臨床宗教師について学ぶことができた。

僧侶としての実践的活動をさせているとい
うのはすばらしいことだと感じました。
オーストラリアでホリスティックに行くと、とても
いい話を聞きました。あふれすぎたというのは
あふれすぎてしまふが、すばらしいなと思いました。

飛虎の中で「傾聴力」のお話があり、今秋話を
している私には懐くタメになるお話だ。たと
感じました。「人の話を聞く力は、日常生活でも
鍛えようものだと思ふたので、少しずつ意識を高めて
いこうと思いました。

「傾聴」の重要性について分かった。人の話を
聞くということは難しいことであることを理解し、
日常生活でも心がけていこうと思ふ。

臨床宗教師に関しては何人向にも興味がある分野で、「傾聴の姿勢」を学ぶことの難しさとして患者さんからこぼれてくる想いを聴くこの姿勢の大切さがよく分かった。

お二人の話も聞く限り、仏教師はカウンセラー的役割が強いことがわかりました。確かに話を聞くことは相手に寄り添い、気持ちを理解することですから、正解は人により違い、難しいです。仏教師自身のメソッドや方法が金になります。

実践真宗学研究科に来て 臨床宗教師の資格を取ろうと用い
研究科に入り 今日の長江さんの話を聞いてどうも光栄
あり とマスカルバ 身に付いたものがたくさんあったので
実践真宗学研究科に来てね♡

お二人の話も聞く限り、仏教師はカウンセラー的役割が強いことがわかりました。確かに話を聞くことは相手に寄り添い、気持ちを理解することですから、正解は人により違い、難しいです。仏教師自身のメソッドや方法が金になります。

自分は普段の生活の会話で興味のあることしか「傾聴」ができておらず、そんな内容でも「傾聴」しなければならなくて、今日の講義を聞いて感じました。他人と真剣に向き合うということは自分と向き合うことなので、自分のためにも「傾聴」は大事だと思います。

今日はいつもと違う視座の視点で、特にLGBTQ+の個性の多様性に関する研究を真宗の視点から研究することは新しい視点で感じました。ハワイ研修中そう...!

今日の授業を聞いて、家にお家でいはいけねど、「真宗学」の学びは、相手に寄り添えることだと感じたので、これからも真宗学について学びたいです!! ☆  * 200

「臨床宗教師」の話は、ゼミの内容と少し被る部分があり、「傾聴」を大切にしているということがよくわかりました。

臨床宗教師のことは前から興味があり、
今日たくさんのお話を聞けてよかったです。
思いました。

皆さんの貴重なお話を聞いて良かった。
臨床宗教師に聞いてはじめてこんなに興味か
あった。今日のお話を聞いてとても参考になった。

人の話を聞くこと、傾聴の重要性、実践
さを知った。このことは、人と関わることにあつた。
常に一番にやるべきことだなと考えた。

臨床宗教師という言葉を聞いたとき、どうも仕事なのか
全然想像がつかなくて、病院のやけに呆れた顔で
患者の話を聞いてくれる人なのかと思ったり。

考えてもらう内容や興味深い話が多くありました。
一番心に残ったのは「人の話を聞ける人」ということでした。
人の話を聞くという事は簡単にできるより見えてきたと
難しいことなのだと改めて思いました。

今回の講義は、真宗について詳しく研究
している先輩の話を聞くことができ、大変
ためになった。特に傾聴についての話は
考えさせられるものがあった。

苦悩を抱える人々に寄り添うこと
として臨床宗教師として傾聴すること
があることを初めて知り、とても素晴らしいことだ
と思った。これは、お二人のプレゼンが本当に上手
で、心に沁み込んで入りました。

講師 2人と自分の考えを共有するテーマに
対して思っていることを伝えた。その中で
「聞くこと」の大切さについて改めて思う
ことがあった。

真宗学の研究内容について実際の院生から
聞いたことは、たいてい、すごく勉強になりました。
貴重なお話、お時間、ありがとうございました。

スノブツのレクチャーの2人がたまたま、すばらしい
思想家。身近なことに、常々私に「宗教」という
字の教の語の付く共生していることを改めて思った。
ところで先生は私たちに宗教と学問との関係
人物になって欲しいの、気がなりました。

実際の先輩たちの研究を、普段から、聴いたり
非常に良い機会だった。其今後、師の研究動向
の、機会であった。

お二人の話を通じ、人との関わりの中
で大切にしていること、特にそれが人生の
中でも重要なものだと思った。

長岡さんと長尾さんの二人の話と聞いて、初めて知る事がたくさん
あり、非常に興味深いに感じました。それ以上にお二人の説明や
スノブツのレクチャーも、内容が耳と頭に入ってきたことが印象的
だった。自分もあのように簡潔で丁寧な発表をできるようになりたいと感
じた。また、今まで知らなかった「実践真宗学」というジャンルについて
あらためて知ることができた。

特別講義で「人を愛し、愛される」という関係を
学んだ。強く自分のためになったと思いましたが
ありがとうございました。

毎年、除夜の鐘をつきに行ったり、父の働く音人
寺に12月31日に行き、門徒様と色々な話を
したり、呉東組の専使寺という寺なのですが、そこで毎年
うそくくに今年の願いを書いて、皆でかざるという
事業があったりします。増々、人と関わることの大切さを知
りました。

二人の三回生の人達が講義をしてくれて、
「まことの信」についての研究などを
発表していただいていた。すごく分かりやすく、
自分の中での真宗学というものへの見解が
かなり広がったと感じた。

上颌頭のL

若按口銅氣，應。海嘉。銅山。
長岡以之。長尾以之。海嘉新鮮時。

今回2人の話をきいて本当によかった。真宗字とは日本だけのもと思っていたが、文化が違ってもいいにあって真宗字というのは世界で有名な字問なのかなと感じた。また人の話を聞くことは真の喜びという話に共感した。

大学院を目指すという事は個人的になかったが今回の講義を聞いて
路床真宗学について自分は打本ゼミでもある為、この分野に興味をもちた。
「異に違ふ力は決してないが、本論等につなげていけばいい」と深く考える。

警察官にも、仁平を「カネポリス」和パレン
とウ原敬香とウをいふことを知らせました。
和自身に手は「話」を「お」で「お」と言わねえと
いふので、今日の話にも「お」に「傾聴」の
姿勢を意識しにいたりました。

今回の講義では、第一段関心と第二段関心の内容である
ハイウェイの交通と臨床教師について学びました。
関心は慣れない単語が多い分興味感心をもて
受講できました。

実践真実学という分野を
はじめて知りました。お話を
聞いてとても大切な分野である
と思いました。

今回の話を聞いて、真宗学
に色んな分野があり、奥が
深いと感じました。

ハワイが好きなので、ハワイに興味をもちました。

ハワイ伝道についてのお話、多くおもしろかったです。

話し方がカウンセラーの人みたいでとても聞きたい
おもしろかったです。講義中に言われていたとおり私も人の話を
きくと聞いているのが意識して話しています。

とても分かりやすい内容がすて入ってきまして
貴重な時間をありがとうございました。
ありがとうございました。

実践真実学で、何を学び、研究しているの
かを聞くことができて、非常にためになった。
また貴重な経験ができてよかった。

浄土真宗からハワイでこんなにも活躍している
ことを初めて知りました。実際に
活動している先輩の話聞いてとても
参考になりました。

私は今回の話を聞いて今はハワイでも
日本人が居てしやすい環境が整っていると聞き
たい自分も行ってみたいなと思いました。真実学は国籍
の枠を超えても、学べる人だなととてもすごい
と感じました。是非話を聞いてとても良かったです。

臨終宗教師は人の話を聞いてその人のやりたこと
とかと一緒にやる事が大切な人だと思いました。また
そういう行動は営業職とかでも役に立つ人だと思
いました。

今日は特別講演ということで大学院生の
お二人のお話を聞いたのはとても貴重な体験ができた。
海外の活動や臨終宗教師という活動を知ること
ができて視野が広がった。

おントナ話を聞いて、津工真宗を軸にハワイでの活動や
時宗系教師... 正しい教育やCGPQとつながり何事でも
研究されていく真宗真宗研究科について知ることで大きな意義は
機会になりました。その中で「札幌」への訪問が印象に残し
トに真宗真宗にあたり大勢の力を改めて認識したことがありました。
1生の人 1800

ハワイでは警察官と対峙する宗教者がいること
はじめて知った。
他人に寄りそいささることを大切であると再度認識する
ことができた。

警察官と僧侶が一緒に働いていると聞いて
驚いた。ハワイにもお寺があると知って行ってみた
と思いましたが火事で燃えてしまったと聞き残念
だと思った。

今日は東洋大学研究科で
セミナーをやっていました。
ハワイでも真宗がひろまっていると聞いて、世界にも通用する人々と
感じました。

お世話になりました。
先輩方の良い背中を見れました。
さし～でい 東洋大学研究科へ～

本日の講義の最後には子供に学ぶという話が
あって、沢山の祈りから学ぶという事に
深く、心も奥味があるという事が印象に残りました。
ありがとうございました。

子供たちに伝えられながらという言葉が
印象に残った。

長岡さんの、ハワイでの宗教活動を行う上で
このころの人と交流しているのが素晴らしいと思います。
家族 = ohana アロハなど、みんなで分かち合おうと
いう姿勢が、真宗の考えと同じだと思った。

実践真宗の先輩のお話を聞いて、LGBTや
教育、~~性~~ かがやきの真諦、おは、自分のセクシー
文脈での実践を学ばれており、興味が増えた。

100

院について興味をもちました。

多岐からの選択肢に入れてみようと思いました。

院生からのお話を聞いてとても参考に
なった。自分は大学を卒業して4年経
たつもりではあるが、それでも4年間
真宗を学んできたので、大学を卒業する
気になった。

今日は素敵な講義をありがとうございました。
浄土真宗を媒介として様々な切り口で
研究に取り組んでいることがとても印象的でした。

私も「不完全な侍従者」エッセイを現が心に残りました。
ボリスとお医者さんのような人を助ける立場の方にもお話を
あるし、そのお話を聴く宗教学にもお話をあるのは、~~研究~~ 研究
者としての当然のことでは。だからこそ、傾聴し、傾聴してもらう
関係性の中での学びを、と感えました。

100

今回の研修で「真宗の歴史」を学んだことは、とても印象的
でした。お話を聞いては、真宗の歴史を学ぶことは、とても
新しい視点から学びがあり、とても興味深いと感じました。
真宗の歴史を学ぶことは、以前とは違う視点から学ぶことが
あり、とても興味深いと感じました。また、真宗の歴史を学ぶことは、
とても興味深いと感じました。また、真宗の歴史を学ぶことは、
とても興味深いと感じました。

ハワイにも、その土地ならではの特色はあるが
同じ真宗の影色か広かっていることも知り、不思議な
感覚とともに、どこにいても変わらない安心感を感じた。
また、臨床宗教師について、すぐに答えを出すのではなく
たが傾聴し、寄り添う存在の大切さについて考えさせ
られた。

ハワイ研修で見たものや学んだことを共有していただき
またまた私自身は不明瞭なまの海外の仏教や宗教
活動について知ることができた。また、聴くということの難しさは
臨床の場だけでなく、宗教実践のさまざまな場でも重要に
感じました。

長尾さんの話で、不完全な伴走者という言葉が印象に残った。不完全であるからこそ様々な人に寄り添えるのだと考えた。

長尾さんの話では、臨床宗教師だからこへ行える、患者さんのための行動の様式であり、面白いと思えた。その職種だから行えることをするのがすごいと感じた。

長尾さんのお話の中では、人に寄り添うには 100% 自分から寄り添うことが大切という言葉が印象的であった。長尾さんのお話では、臨床宗教師について一層詳しく学べ、関心が高まった。石川さん

実践真宗堂研究科の二人の話を聞いて、海外の伝道の善業や臨床宗教の取り組みを知ることができ、非常に新鮮で貴重な体験だった。

今日ご講演頂いた二人の方のお話に関して、東京の状況と海外に実践されている方々の違いとで、海外の伝道や臨床宗教師に興味を持ち、卒業後は実践真宗堂研究科への進学を考えています。今回のお話を聞いて目標が明確になり、進路が明らかになりました。ありがとうございました。

171で「伝道」の大切さが存在する。伝道は、日本国民が「異国の地で日本の文化を伝える」ということ、興味を持ち、それによって「研究」をしている。伝道のため、これがいいと思った。

今回の講義で、実践真宗堂研究科でどのような活動がされているのか、一部がわかり、もしわけて、活動を学ぶ一つのやり方材料になりました。

院に来て下さい

実践真宗堂の方の発表を見て、院に行きたい気持ちが高まりました。大学院は大学より専門的で実践的であることがわかり、もっと研究し、実践に伝道を見たい。自分にとってベストな選択だったと思います。講演ありがとうございました。

171人の話で、171にもお手が二人にたてられ、お話を聞かれました。またメンバーも多くいて、海外でも活躍している人だと思いました。臨床宗教師の話で、171に171に乗ったりすることやっていると聞くと、確かに看護士などに出来た唯一無二な職業だなと驚きました。

ハワイにも仏教って伝わって360年

ハワイで土着の宗教とか
あったのかな？

警察の方のメンタルケアであったり、幅広く世界で
活躍されているのを聞き、真宗の教えが求められて
いるのだと感じることが出来た。



特別講義で、長岡さんのハワイの真宗伝通と長尾さん
の臨済宗教師についての発表をきいて、変わったです。
すごく良い話をまた聞きたいと思いました。

ハワイでは門徒のことをメンバーと呼ぶという
ことが印象的だった。という意図でメンバーとい
う言葉を使うのが疑問に思った。



それ伝通でハワイについてよく勉強したからかな、世に人
々もよく知る。現在ハワイで抱えている課題などの
情報もよくも結び付いている可能性についてもよく。

今回の話を聞いて、ハワイで色々な活動に似た活動が展開
されているのですね。宗教で抱えている課題や悩みは、警察と
似ている点があること、面白かったです。



ハワイでの伝導の話を初めて聞いたのが、
とても多様な活動をしているなと思いました。
ハワイには警察と連携していることも面白いなと思ひます。

一度、中学校の修学旅行でハワイの別荘へ行きました。
当時は、お寺に深い関心がなく、発表も聞いている風
少しもたないことでもしてしまったと感じました。
日本だけでなく、海外にも目を向けてみれば、とても
興味深かったです。

